



TITLE:

地方支部の發展策に就いて : 會告

AUTHOR(S):

CITATION:

地方支部の發展策に就いて : 會告. 天界 1935, 15(171): 355-356

ISSUE DATE:

1935-06-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167045>

RIGHT:

會 告

地方支部の發展策に就いて

地方支部の若干は可成り以前より有名無實的存在として、“早く種々發展策を講ずる様”との聲が繁く本部を刺激し、時機の到來を待つて居た處、漸く實現の運びとなりつゝある現状となり得た事を茲に發表出来るのは會員諸氏と共に欣快に堪えない次第です。

之れは一つには熱心なる會員達の期せずして要望されてゐたものであり、又一般社會の天文學への認識向上と知識の普及に預る處多く、昨今計らずも各地の有志や有力團體より、地方支部設置の要求や既設支部の強固改革を申出でられて本部は大いに力を得、從來考究中の發展策を示して漸次この機運を廣く各地に進展せしめて、本會の發展を計りたい考へであるから、宜ろしく會員相互の向上發展のため多々御後援を願ふ次第です。

尙ほ、從來の支部設置當時に較ぶれば今は多くの會員の移動消息あり、又新地方への會員密集を見る様にもなり、既設支部の中にも整理されるべきものがあり、又増設の必要のある事は云ふまでもない。

茲に新支部の設置と又現在活躍中の支部や、其の他の支部の一層強化發展への方法として、暫定的に下記の諸案を掲げて、遂次その實現を期待するものであり、又別頁に發表された本會の改善策、「天界」誌の改正案や新通俗雜誌の發刊等の實現と相待ち、又地方會員中の有力者より擧げられた多數の地方委員の御盡力により、本會の將來の發展進歩は期して待つべきものゝある事を確信するものです。

1. 近距離にある會員は常に相互の連絡、親睦を計られたき事。

たとへ少人数なりとも會合と連絡の繁くなる時は支部設置の機運を齎らすものであり、多人数なる時は期せずして一つの地方的の趣味の會を作る事になり、又かやうな會の相互の連絡は愈々強力なる實を擧げる事が出来る。

(之がため本會の支部と稱するのみに止まらず、その會即ち支部だけの規約を設け會名を作つても差支へはない。むしろ之を實行してゐる會は目的の遂行に大いに便宜を得てゐる事を實證してゐる。)

2. 各支部員は屢々會合を催すに機會と方法を選ばぬ事。

之れはその集會が常に「星の話」をなす目的でなく、ピクニックを催しても大いにその親睦の目的は達せられる。尙常に適當な指導者を得て觀測會を行ふ事が望ましい。

3. 各地支部で講習會、講演會、觀測會を開く場合は本會々員に限り本部はあらゆる便宜を計り、相談を受けるから遠慮なく申出でられたい。

會合に際し専門家の講演や實地指導を要求される場合その旨本會へ申出でられれば、適宜に適任者を周旋し、近距離なれば花山天文臺へ、遠距離なれば、各地近在の適任者に依頼する。これらの勞をとる事は支部への奉仕の一つであり、又いと安易な事である。

④但し、この場合、出張者に對する往復旅費は實費を申受けますが特別にその報酬は敢へて必要とせない事とします。又幻燈映寫の設備が出来れば種々の幻燈板を携行する事も出来ます。

4. 各支部は本部よりその可能的の有らゆる便宜を受ける事が出来る。

現在各支部へは機關誌その他の印刷物は無料にて配布し、各支部員の使用に提供してゐる。

5. 支部の事業。

支部としての本部への義務は別に設けず、たゞ新會員の勧誘を望み、支部の活動ぶりをたとへ寸信にても毎月報告せられたき事、このため誌上に「支部欄」を設けて、その使用に提供します。

6. 支部と本部には經濟的關係を設けず、會員の會費納付その他は直接本部へ送付される事。

7. 東亞天文協會々員を表徴するため、會合の際には會員徽章を胸間に佩用すること。

これがため徽章模様を募集します。

以上の目的のため新しく支部を創立し、その會員の顔觸れを要求される方があれば直ちにこれを御通知し、又その他の一切の相談に應じます。

以上 東亞天文協會

× × ×

支部創立の紹介 最近創立された支部は上記の各條項を適用してゐる。

◎市岡中學支部（大阪市） 去る六月一日支部發會

生徒約20名を以つて天文同好會を組織し、その内約10名は本會の會員である。例會、講演會、觀測會を行つて若々しい活躍を續けてゐる。

◎京都支部（京都、京星會）

京都市内在住の有力なる本會々員數名が組織してゐる京星會は今回、京都支部として連携、本會との間に協定文を交換し、京都市内に於ける本會の事業を大いに援助せられる事になった。目下有力な、代表的な支部團體である、この會は從來機關誌「京星」を發行し「天文急報」を配布してゐる、約40名の會員は胸間に徽章を附けて、將來有爲な元氣を見せてゐる。